



花のしおり

石川県立金沢伏見高等学校
図書委員会
令和3年5月6日発行

図書だより
140号

『卯の花腐し』(うのはなくたし)



卯の花とは、うつぎの花のこと。

この時期、白い花をたっぷり咲かせます。卯の花の咲く時期に降り続く長雨が「卯の花腐し」。晴れた日が多いと思いきや、天気恵まれないことも多い季節。こんなに降ったら、せっかくの花が腐ってしまうのではないかと気をもんでいる。そんなやさしさを含ませた言葉です。

みなさんは新学期も半ば、授業や部活で忙しい高校生生活を送ることでしょ。

その合間に、図書室で本を借りての読書はいかがですか。読書時間で、リラックスタイムを作ってみてくださいね。

(『話したい、使いたい 心ときめくことばの12か月』引用)

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

図書室の本の返却について

2. 3年生で本を借りたままになっている人は忘れずに返却しましょう。

自宅に図書室の本が置いたままになっていないか確認してみてください。

学校の本はみんなで共有する本です。

マナーを守りましょう。

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

受賞作品紹介(未所蔵本ですが所蔵予定)

本屋大賞『52ヘルツのクジラたち』 町田そのこ著

本屋大賞 翻訳小説部門

『アーモンド』 ソン・ウォンピョン著・矢島暁子訳

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

令和3年度 図書委員紹介

1年間よろしくお願いします。

委員長 松岡 滯 (37H) ・ 副委員長 道 愛里 (37H) ・ 副委員長 福田 もも (22H)



委員活動

学校図書館は、学校の勉強や部活動に必要な図書や資料を集め、それを整理して学校全体の人々に利用してもらうサービス機関です。

図書委員は、こういう図書館の役割を生徒の立場から理解し協力します。右記の係に分かれて活動していきます。

活動予定では、年2回の図書館講座、図書室展示企画、図書館だよりの作成、清流祭での古本市、蔵書の選書があります。

みなさんの参加やご協力も、よろしくお願いします。

講座係	展示係	広報係
蟹屋敷 姫菜 (14H)	畠中 七海 (13H)	松井 瑛立 (11H)
藤田 愛葉 (14H)	藤田 杏菜 (13H)	新田 詩帆 (11H)
西田 優歩 (16H)	山田 瑚遙 (15H)	佐久間 未輝 (12H)
吉田 百合香 (16H)	東平 柚羽 (15H)	時田 真優 (12H)
北村 柚葉 (24H)	西山 静花 (22H)	中島 穂乃花 (21H)
林 花音 (24H)	福田 もも (22H)	山中 春和 (21H)
吉田 光 (25H)	荒山 優奈 (26H)	助則 亜依美 (23H)
西浦 皇希 (25H)	後 明希 (26H)	前野 日菜 (23H)
川尻 空 (31H)	上野 みさき (33H)	赤井 優香 (32H)
指江 琉威 (31H)	三〇 蒼葉 (33H)	宮崎 妃奈子 (32H)
宮本 萌 (36H)	西村 菜々美 (34H)	大川 真由 (35H)
川崎 早弓 (36H)	米田 涼乃 (34H)	佐藤 美海 (35H)
		松岡 滯 (37H)
		道 愛里 (37H)

新任の先生が 紹介する好きな本 ・おすすめの本

(未所蔵の資料もありますが、所蔵・収集予定です。)

中野好光副校長先生

「神様のカルテ」夏川草介著

前籍校での1ヶ月程前の出来事です。
看護の道に進もうかと考えながらも、小説にも興味があり、文学部に進学しようかと悩んでいた生徒がいました。私はこれだと思い、この本の1を薦めました。その後、しばらくして「どうだった？」と訊くと「良かったあ～！全部読んだ！」と答えてくれました。全部で4冊。まだ読んでない人は読んでみませんか？はまるかも・・・。

明間貴子先生(英語)

「ミライの授業」瀧本哲史著

著者の瀧本さんは東大卒で京大准教授、経営コンサルタント、エンジェル投資家と様々な顔を持つ方ですが、その著書は日本の若者に希望を与えるような情熱に溢れています。

本書は歴史上の偉人についての価値を説きながら、未来を創っていく子どもたちを応援する本です。

星野敏子先生(国語)

「ええんとくちから」笹井宏之著

26才で亡くなった歌人の短歌集です。
ことあるごとに本を開いて、笹井さんの言葉に耳をすましています。

タイトルは“ええんとくちから ええんとくちから 永遠解く力を下さい” という歌からとられています。

この短歌、ええん、ええんと声をだして泣いているようにも思えませんか？

山品裕先生(地歴公民)

「小説十八史略」陳舜臣著

古代中国の歴史についてわかりやすく書かれています。

更に漢文の勉強にも役立ちます。

渡瀬潤紀先生(地歴公民)

「世界神話学入門」後藤明著

ヤマタノオロチのように世界中でドラゴン退治の神話があるのはなぜなのか？

人類の広がりとともに、神話の原型も広がったということが書いてある本です。

この一冊で私の神話観が覆りました。